

竜ヶ崎一初の地区優秀賞

「書の甲子園」として知られる第28回国際高校生選抜書展(毎日新聞社・毎日書道会主催)の審査結果が28日発表された。県内からは竜ヶ崎一高が団体の北関東地区優秀賞に、同高3年の藤田千鶴さん(17)が個人の優秀賞に輝いた。

【安味伸一】

書の甲子園 北関東

切磋琢磨で快挙

応募総数は1万390 同校の受賞は初めて。同5点。団体の地区優秀賞 校は書道部員22人のうちは、国内796団体の応募 21人が出品し、藤田さん 50校が選ばれた。の他にも7人が入選し



「部内の活気が受賞に」

た。書道部が切磋琢磨し、え、部員は喜びに浸って成し遂げた快挙といえる。

優秀賞・同高3年 藤田さん

個人 練習実り「うれしい」

藤田さんは小学1年から書道教室に通い、こつこつと努力を重ねてきた。全国学生比叡山競書大会や高円宮杯日本武道館書写書道大展覧会などで入賞した実績がある。書の甲子園は昨年初めて出品したが落選し、「ショックだった」という。今回は部活動だけでなく、自宅でも時間を割いて練習してきたため、「すごくうれしい」と受賞を喜ぶ。作品は「光明皇后楽毅論」。光明皇后が王義之の「楽毅論」を臨書した名品で、全紙に5行の力作だ。

書道部の活動は週3回、放課後の2時間と限られていて。卒業生の大半が進学する同高では、3年生は大学受験に備えて6月末で書道部を引退する。各大会への出品作もそれまでに仕上げを迫られる。こうした環境で団体の北関東地区優秀賞に選ばれた。



●書の甲子園に出品した竜ヶ崎一高の書道部員たち。前列は優秀賞の藤田千鶴さん(左から4人目)と7人の入選者●出品作を練習した全紙を手にする藤田千鶴さん=いずれも龍ヶ崎市平畑で

6月まで部長を務めた3年の井上夕菜さん(18)は「名誉ある賞をいただいた。昨年は2人だった3年生が今年は9人おり、部内の活気が受賞につながった」と笑顔を見せた。

井上さん自身も隸書で入選した。「書いたことがないような古典に触れて刺激を受けた」と話す。「部員はすべての作品に本気で取り組むし、仲が良くて明るい。充実した部活動だった」と振り返った。大古教諭は「入選5人が目標だったので出来た。ひのき舞台でよく頑張った」とたたえた。

県内の入賞入選

- 県内の入賞入選者、団体は次の通り。(敬称略)
- ▲優秀賞▽藤田千鶴(竜ヶ崎一) ▲入選▽綿引彩華(常磐大高) 富森円香(水戸二) 井上夕菜、手塚望絵、江波那菜、増子風香、菅野楓、山本実穂、安田朱里、竜ヶ崎一(五十嵐弘子、牛久栄進)
- ▲北関東地区団体賞▽優秀賞 竜ヶ崎一